

平成 27 年 5 月 5 日

都道府県体操協会(連盟)会長 殿
ブロック体操協会事務局 殿
各ブロック代表者 殿

公益財団法人日本体操協会
専務理事 渡辺 守成
審判委員長 竹内 輝明
地域委員長 小竹 英雄
(文責: 国体担当 佐久間 裕司)

第 70 回国民体育大会体操競技会の各種別競技の適用ルールについて (通達)

平素より本会の諸事業に対しましては格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、標記の件、国民体育大会〔体操〕実施要項には、適用ルールの具体的な記載はせず、別途当該年度初めに本会より適用ルールを都道府県協会・連盟に通達することとなっております。

ここに「第 70 回国民体育大会体操競技会、各競技種別適用ルール」を通達いたしますので、関係各所への周知、伝達を宜しくお願い申し上げます。

なお、今大会は和歌山市の大会会場の関係で早期に開催され、9 月 6 日(日)～7 日(月)が新体操、9 月 10 日(木)～13 日(日)が体操競技となっております。

皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記

【第 70 回国民体育大会／体操競技会の適用ルール】(実施要項 4 項抜粋)

4 競技上の規程及び方法

(1) 公益財団法人日本体操協会制定の競技規則による。

(2) 体操競技の競技方法

成年男女及び少年男女ともに 1 チームの選手は 5 名とする。(5 - 5 - 4 方式)

ア 成年 (団体総合競技)

男子は、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の 6 種目の自由演技を行う。成績順位は、6 種目の各種目ベスト 4 の得点総合計によって決定する。

女子は、跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの 4 種目の自由演技を行う。成績順位は、4 種目の各種目ベスト 4 の得点総合計によって決定する。

なお、成年男女の詳細な適用ルールについては、別途、公益財団法人日本体操協会から都道府県協会に通達する。



- 成年男子は、「2013年版採点規則及び男子体操競技情報 22号まで」を適用する。
- 成年女子は、「2013年版採点規則・変更規則Ⅱ、女子体操競技情報 最新号」を適用する。

イ 少年（団体総合競技）

男子は、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技による予選と決勝を行う。予選での6種目の各種目ベスト4の得点総合計により上位18チームを選び、そのチームによって決勝を行う。成績順位は、決勝における6種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

女子は、跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技による予選と決勝を行う。予選での4種目の各種目ベスト4の得点総合計により上位18チームを選び、そのチームによって決勝を行う。成績順位は、決勝における4種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

なお、少年男女の詳細な適用ルールについては、別途、公益財団法人日本体操協会から都道府県協会に通達する。



- 少年男子は、「平成25年度版高等学校男子適用規則(2015年改訂版)及び男子体操競技情報 22号まで」を適用する。
- 少年女子は、「2013年版採点規則・変更規則Ⅱ、女子体操競技情報 最新号」を適用する。

(注) 予選において同点が生じた場合、競技規則に準じて決勝通過順位を決定する。

(3) 新体操の競技方法

適用ルールについては、別途、公益財団法人日本体操協会から都道府県協会に通達する。



- 少年女子は、2013～2016 公財日本体操協会採点規則シニアルールと平成25年2月 高体連適用ルールを採用する。

ア 競技内容 団体競技(フープ2・クラブ6)

*当該年の全国高校総体で採用された種目と同一とする。

個人競技(フープ・ボール・クラブ・リボン)

成績順位は、以下の合計得点によって決める。

団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×1/4)の合計

イ 団体競技について

都道府県ごとに団体を編成し、演技者は5名とする。

ウ 個人競技について

個人競技の演技者として、団体の5名のうちから4名だけが出場できる。